

まちづくり活動や人材育成を支援

まちづくりのための取り組みや地域課題解決のための活動を支援する「まち・未来創造支援事業」と、まちづくりを担う人材育成を支援する「明日をひらく人づくり事業」の対象となる、市民活動団体やまちづくり

団体等が行う事業などを募集します。

まち・未来創造支援事業

○まちづくり活動（スタートアップ）支援事業

▼対象 新たな公益的活動を始めようとする団体の事業

▼補助額 補助対象経費の5分の4以内（上限20万円、助成は3回まで）

○まちづくり活動（ソフト）支援事業

▼対象 地域の課題解決のために行う市民活動

▼補助額 補助対象経費の3分の2以内、重点テーマは5分の4以内（上限百万円、助成は3回まで）

○まちづくり活動（ハード）支援事業

▼対象 地域資源を活用した整備事業

▼補助額 補助対象経費の4分の3以内（上限5百万円、助成は1回）

○まちづくり活動（グレードアップ）支援事業

▼対象 実績のある事業をさらに拡充・発展させ、各種団体から賛同・協力を得ながら企画・運営する事業

▼補助額 補助対象経費の2分の1以内（上限百50万円、助成は3回まで）

○NPO法人設立支援事業

▼対象 NPO法人格の認証手続きに係る活動など

▼補助額 補助対象経費の5分の4以内（上限20万円、助成は1回）

明日をひらく人づくり事業

円、助成は1回

▼対象 ①将来のまちづくりを担う青少年を育成するための事業 ②まちづくりを担う人材を育成するための事業 ③自治会・町内会などの運営を担う人材を育成するための事業

▼補助額 補助対象経費の2分の1以内（上限50万円、助成は3回まで）

○案内（共通）

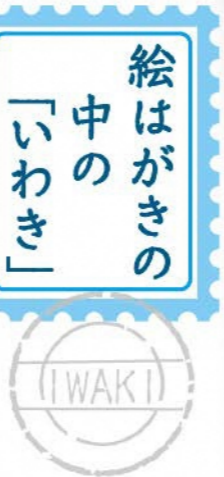
▼申し込み方法 同課、各支所、中央台・泉市民サービスセンターに事前相談の上、申請書など（市ホームページから入手可）を提出
▼申込期限 3月1日（月）

○お問い合わせ

地域振興課地域振興係
☎ 22・7414

紺綬褒章

▷東洋システム株式会社＝常磐西郷町
同褒章は、公益のために多額の私財を寄附した個人・団体に授与されるものです。令和元年11月に、小型動力ポンプ付軽積載車3台を本市へ寄附した功績がたたえられました。



絵はがきの限界性（衰退期）

高度経済成長期が始まった昭和三十一年代になると、絵はがきを巡る環境は大きく変化していきます。新聞は印刷技術の向上により、写真をより鮮明に掲載することが可能となり、急速に発達する流通業界と関わりを持つようになりまし。その結果、絵はがきは即時性が失われたものの、レジャーや観光と結び付けられ、従来の美しさの表



赤井岳薬師堂の版画絵はがき〔昭和50（1975）年 大竹印刷発行〕

明治時代に誕生した絵はがきは、新聞と並んで、重要な情報伝達媒体として使用されてきました。絵はがきに残る当時の風景などを通して、いわきの歴史や文化をひもときます。

現だけでなく、土産物や観光地からの便りなどといった利用場面を意識して作成されるようになりました。

昭和四十年代後半からは、カラー写真の印刷技術が向上し、大衆化が進むと、彩色絵はがきの精度は一気に高まっていきま。大きな利点の一つであった伝達の速さは、テレビやビデオなど、他の多様な媒体に取って代わられました。また、個人でも写真やインターネットなど、多種多様な速さを持つ媒体が登場し、絵はがきの利点をしのいでいきました。このような中で絵はがきは、次第に観光や学校などの記念行事を中心とした範囲の発行に狭められていきました。

昭和五十年代から六十年代にかけて、地方の良さを再認識してこれを発信する、いわゆる「地方の時代」が浸透していくと、写真以外のスケッチや版画、画家の描いた観光スケッチで構成された絵はがきが登場しました。また、地元産材をPRするため、木材や和紙を材質とした絵はがきも作成されました。（いわき地域学会 小宅幸一）

こんにちは市長室から ⑥1



新型コロナに負けず 震災復興を発信！

いわき市長 清水敏男

令和3年がスタートしました。新型コロナウイルスの感染拡大が続く中、年頭行事の市役所仕事始め式はリモートに、初市式は規模縮小、新春市民交歓会や出初式は中止、成人式は延期となりました。今後は順次ワクチン接種を進め、感染症を一日も早く収束できるような市を挙げて取り組んでまいります。

本年3月で、東日本大震災から10年の節目を迎えます。地震・津波・原発事故という複

合災害に見舞われた本市は、市内外のさまざまな支援と市民の皆さんの頑張りにより、着実に復興を成し遂げ、コロナ禍にあっても明るい話題が多くなってまいりました。3月には全長53kmの復興サイクリングルート「いわき七浜海道」が開通します。また、5月には全国の港湾関係者約1,000人が集う日本港湾協会総会が本市で開催されるほか、6月には昨年中止となった「全日本級別サーフィン選手権大会」が四倉海岸で開催されます。さらに、8月には3年ぶりとなるオールスター競輪が史上初のナイター6日制で開催されます。

他にも、本市を舞台としたアニメ映画「フラ・フラダンス」が初夏に全国公開される予定です。これらの話題を通して、復興に向かう本市の姿を全国に発信してまいります。